

守りたいのは命、残したいのはきれいな水と空気

平成15年度の事業計画

せと川 なるほど講座 年4回 開催
(5月、7月、9月、平成16年2月)

総合学習支援事業
志太榛原地区小中学校 自然体験活動
講師派遣

第6回 瀬戸川フォーラム 開催
11月22日(予定) 藤枝市生涯学習センター
勝草橋から瀬戸谷温泉まで川辺散策

水上の里 田んぼビオトープ
田植え 5月31日、6月1日

瀬戸川 里の楽校 夏休み子供キャンプ
8月7～10日 藤枝市宮原
小学生 56人 募集予定

会誌発行 年4回
(5月、9月、11月、平成16年3月)

川遊びで自然や環境学が

5月12日藤枝市立西益津小学校(校長中司洪夫校長)2年生担任の柴崎先生ほか3クラス83人の子供たちが3年生から始まる「総合学習」において、子供たちに「川のたのしさ」を伝えるため、瀬戸川(西高橋下流)で川遊びを行った。藤枝市の生活環境課の紹介で瀬戸川流域の自然と文化を大切にする市民活動団体「瀬戸川フォーラム」の3人が講師となり、川を子ども達と一緒にたのしい遊び場に変身させた。最初は流れの変化がない単調な川であった



が、子どもたちは自分の手で川の中に、天然の流水プールや露天風呂をつくったり、魚捕りや石磨きをするなかで、普段の遊びでは得られない自然の不思議さおもしろさにおおはしゃぎであった。生まれて初めて瀬戸川に入って遊ぶ多くの子ども達は、エビやみがくと光る緑色の石などふるさとの川の魅力の発見に終始目をかがやかせていた。



協賛各社

黒川医院 菅ヶ谷内科医院
青島歯科医院 (株)松浦恒産
岡歯科医院 小柳津久男事務所
(有)桑原モータース
佐野設計工房一級建築事務所
服部歯科医院音羽町診療所
(株)エクノスワタナベ
(株)山田組 大鐘測量設計

瀬戸川フォーラム 構成団体

しずおか流域ネットワーク/志太自然ネットワーク
(社)藤枝青年会議所/森林組合おおいがわ/静岡県島田土木事務所
瀬戸川 朝比奈川非出資漁業協同組合/ふるさと建設の会
大井川流域ネットワーク/志太エコクリエイト

瀬戸川フォーラムのHPもご覧ください。http://www.ryuikinet.gr.jp/setogawa/

瀬戸川通信 編集責任者 大井川流域ネットワーク 小田 稔彦
島田市中央町31-10 TEL 0547-36-0706

川のみらい・地域のみらいについて考える情報紙

瀬戸川通信 第11号

発行 瀬戸川フォーラム 平成15年 5月18日



瀬戸川 宮原 水難除地藏尊

瀬戸川フォーラム 2002年度 活動報告

瀬戸川フォーラムでは1997年に本格的な活動を初めてから6年が経過しました。瀬戸川流域を一つの地域単位と考え、流域内で活動する様々な団体との情報交換や協働での取り組みを行ってきました。今回の瀬戸川通信では200

2年度の瀬戸川フォーラムの活動内容を振り返り、さらに瀬戸川の育んだ自然と文化を再発見するための良い機会となるようにと活動報告を掲載しました。

5月 せと川 なるほど講座 第1回 「いにしへの瀬戸川」

講師 磯部武男 氏(藤枝市郷土博物館)



清流 瀬戸川の名前の由来や近世以前に川がどのように利用されたかについて考証しました。さらに、流域に鎮座する水神に対する信仰に触れ、流域の人々の川に対する想い(感謝と畏れ)を辿ってみました。

7月せと川 なるほど講座 第2回 こどもにも分かる川の生き物のおもしろい生態

富士常葉大学助教授 山田辰美
(瀬戸川フォーラム 代表)



瀬戸川の生き物たちの暮らしぶりについてスライドやカメラ、へびなどの生き物たちとともに分かりやすく解説されました。会場は子供たちで満員状態でした。

6月 ふるさと体験学習 田んぼビオトープ 水上の里

休耕田の活用と自然体験学習の場づくり(通称への字山下の田んぼ)

●田植え

6月9日に行われた水上の子供たちと市内のボーイスカウトの子供たち参加の田植えが地元の農家のおじさんたちの指導のもとに行われました。子供たちは泥まみれになって大はしゃぎでした。

市民団体 志太エコクリエイト 主催
新出幸雄(瀬戸川フォーラム会員)



8月 瀬戸川 里の楽校 あげんだい リバートレッキング

せと川里の楽校実行委員会（がんまめファミリー、空耳子ども会、瀬戸川フォーラム）は「せと川里の楽校2002 狐の膏薬」夏休み子どもキャンプを8月3日～6日までの4日間、藤枝市稲葉、滝沢地区で小学生56名、スタッフ10名、学生リーダー約46名、ボランティア20名の総勢132名を集めて行われました。



9月 瀬戸川の“宝物”なに 焼津市立港中 水辺観察

静岡新聞報道より

港中の生徒7人が総合学習の一環で、瀬戸川の下流から上流までの水辺環境を学ぶ野外学習を夏休み中に実施した。行政と市民団体、学校の三者が連携し、子供たちが川の魅力に触れる好機を生み出した。講師を務めた市民団体「瀬戸川フォーラム」では「こうした試みに今後とも是非協力したい」と手応えを感じている。

（焼津市が14年度から始めた「将来の焼津市を担う人づくり事業」に中学校が依頼、市役所各課が87の講座を用意し、学校の依頼に答え講師を派遣している）

瀬戸川フォーラムの目的

1. 流域の自然の保全と文化の振興を図る。
2. 流域を中心に活動する市民の交流をすすめる、流域の望ましい姿を考える。
3. 子供たちの健全な成長にとって重要なふるさとの自然や文化に触れる環境や機会を設ける。

10月 せと川 まるごとみつめ隊 藤枝市立藤枝小 水辺散策



藤小の子供達と保護者67名とリーダーの学生（富士常葉大学生11名）が5つの班に分かれて、瀬戸川堤防沿いを散策しながら瀬戸川の宝物探し（自然体験活動）を行いました。学生リーダーは事前に瀬戸川環境マップを作り、下見のときに宝物をどのように子供達に気づいてもらおうか、どのように伝えるかを考えながら2度ほどこのコースを歩いてもらいました。

11月 第5回 瀬戸川フォーラム 藤枝市(稲葉公民館)で開催

11月24日(日)に「稲葉公民館」において「せと川フォーラム2002」(第5回)を開催しました。今回のフォーラムは、「流域の里山と清流を守るために」を副題に、瀬戸川中流域で有機農業を営み、ふるさとの自然環境を守る活動を積極的に行っているがんまめファミリー倶楽部や流域で行われている「里の楽校」の学生リーダーの協力を得て、河川敷公園が整備され水遊び、バーベキューやスポーツなど河川の利用が多く行われている藤枝市寺島で開催しました。

今回のフォーラムは午前中に水辺散策やビオトープづくりなどを行い、午後から川の未来を語る集いや川のごみ問題、川や流域を環境教育の場として活動する団体の交流会を行いました。

当日はスタッフとしてフォーラム関係者90名、フォーラムの活動に子供達100名 大人60名が参加していただきました。



勝草橋から金吹橋周辺の瀬戸川散策



宿場町を支えた元井戸のエコアツプ



川の生き物発見隊



もちつき隊 水上の里田んぼビオトープ



川のこれからを語る集い



川の魅力再発見の集い



パネル展示 クイズラリー



染飯、おでん、お稲荷



地場産品の販売と手打ちそば

3月 せと川 なるほど講座 第4回 ごみ減量に挑戦 大井川町の実践報告

大井川町では生ゴミ処理を環自協で推進しています。町の生活環境課でバックアップしていて、担当者の他に3名の指導員がいます。ある町内会(約240戸)の8割くらいの家庭で杉チップ方式の生ゴミ堆肥化を実践しています。そのおかげでマイナス167トンの数値が示されています。この数値にゴミ処理費37,100円/tで換算すると約600万円の処理費を浮かせたこととなります。



大井川町生活環境課 平井昌信 さん